

■タイトル

ドラムポーター使用手順の見える化

■概要


複数部門が使用する倉庫にあるドラムポーターの使用手順書を作成し、現地倉庫の壁に掲示した

●ドラムポーター手順書

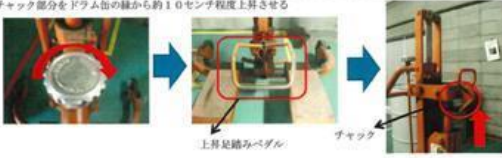
2017年10月5日
RC 室検査、技師室、研究所

ドラムポーター使用手順


① 左右の後輪にあるロックを持ち上げロックを解除し、ポーターをドラム缶付近まで移動させる。




② 操作ハンドル前にある下降ハンドルを時計方向(CLOSEの方向)に戻し、上昇足踏みペダルを踏み、チェック部分をドラム缶の縁から約10センチ程度上昇させる




③ ドラムポーターと移動させたいドラム缶がぴったりと接するまで近付ける




④ チェック上部にある持ち手を上に上げながら、下降ハンドルをゆっくり反時計方向(OPENの方向)に戻す。自動的にチャックが下がるのでチャックを缶の縁に引っ掛ける




⑤ 下降ハンドルを時計方向(CLOSEの方向)に戻し、チャックを固定する。固定後、上昇足踏みペダルを踏み、ドラム缶を持ち上げる




⑥ 操作ハンドルを使いドラム缶を移動、後輪をロックした後、下降ハンドルをゆっくり反時計方向(OPENの方向)に戻し、ドラム缶を下す



⑦ 後輪のロックを解除し、チャックの持ち手を持ち上げドラム缶からポーターを離す



⑧ 使用後はポーターを元の位置に戻し、後輪をロックする



●倉庫内



手順書設置場所

【アピールポイント】(特徴、効果など自由に記載下さい。)

従来はそれぞれの部門で口頭で使用手順のOJT教育を行っていたため、教育内容がまちまちになり、また、常に使用しなければ、使用方法を忘れてしまう。これらを改善するため使用手順書を作成し、教育内容の標準化を図るとともに、現地に掲示することにより、確実な操作ができるようにした。